

宝木だより

防災特集号

第16号

発行 宝木地域づくり推進協議会

(宝木地域コミュニティセンター内)

TEL・FAX 028 - 624 - 0531

(題字 北條信男氏 書)



災害に 備えて

宝木地区防災訓練

十二月八日宝木小学校において消防署、消防団等の協力を得て宝木地区自治会連合会（10自治会）の防災訓練を行いました。本年度は、宝木地区防災会（自治会連合会長兼務）の組織を改編充実しての初めての訓練で、特に防災要員の方に新調した制帽を着用していた。だき、誰もが凛々しい態度で訓練が行われました。十二月とはいえ小春日和の暖かな天候にも恵まれ、参加者も過去最高の三五〇名を超えました。

訓練は、震度6の地震の発生を想定したもので、参加者を避難者に見立てて自治会や参加団体ごとの受付をして、仮想負傷者、高齢者把握の訓練をしました。体育館では、消防署員からAED取り扱い、三角布による応急手当、物干竿と毛布による応急担架の作り方と搬送訓練などの指導を受けました。

その後体育館から誘導されて校庭に集まり、バケツリレーの初期消火、資機材の使用、土のう造り、はしご車による校舎屋上からの救出訓練、消防分団による迫力のある放水実技を見学、正午には婦人防火クラブによる炊き出しのカレーを食して訓練は無事終了しました。



バケツリレー消火訓練



機材の使用訓練



参加者集合



二月二日宝木コミュニティセンターにおいて、消防署員による負傷時の応急手当・救命処置の指導を受けました。
スポーツ少年団の保護者等も急遽参加し四〇名の女性が、人工呼吸法やAED使用方法・三角布による応急処置等について熱心に耳を傾け実技を体験していました。

婦人防火クラブ 防災教室開催



炊き出し訓練

